2013.2

取扱説明書

ハンドリベッター　ナッター兼用　品番：＃３６３７００００　型式：Ｈ－３

１，仕様

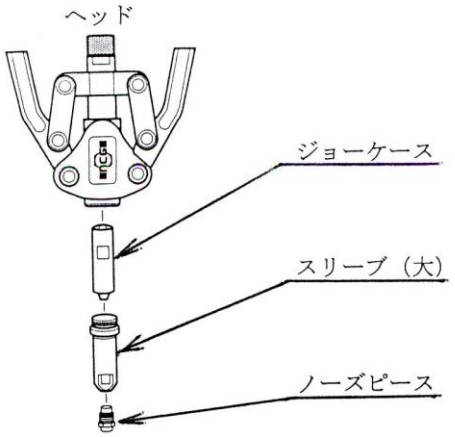
・適応リベット径：３.２，４.０，４.８，６.４ｍｍφ（スチールリベット）
・適 応 ナ ッ ト：４.０，５.０，６.０，８.０，１０.０ｍｍφ（スチールナット）

２，リベッターの使用方法

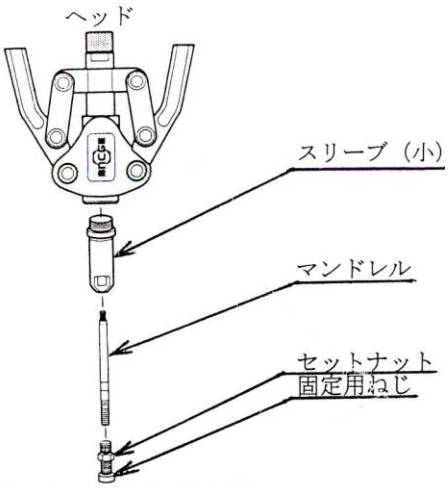
①本体にジョーケースを、付属のスパナを使用して確実にねじ込み、続いてスリーブ（大）をねじ込んで下さい。
※ハンドルを伸ばして下さい。ストッパーにより、自動的にハンドルを固定する事が出来ます。ストッパーを引き下げると、ハンドルを折り曲げて、収納出来ます。
②リベットする材料の厚さにあったサイズのリベットを選択して下さい。
③リベットのサイズに合わせて、ノーズピースを交換して下さい。
④リベットする材料に下穴（リベット径より０.１～０.２ｍｍ大きく）を開けて下さい。
⑤本機の先端（ノーズピース）にリベットのシャフトを挿入して下さい。
⑥リベットを装着した状態で、下穴に挿入して下さい。
⑦本機の先端を材料に軽く押し当て、材料とリベットに隙間が無い事を確認して、ハンドルを確実に握って下さい。
⑧ハンドル操作を１～２回すると、シャフトが切れて、リベット作業は完了です。
⑨ハンドルを広げると、ノーズピースからシャフトを取り除く事が出来ます。

３，ナッターの使用方法

①本体にスリーブ（小）を、付属のスパナを使用して確実にねじ込んで下さい。
②使用するナットを選択して下さい。
③ナットを取り付ける材料に下穴（ナットの外径より０.１ｍｍ大きく）を開けて下さい。
④使用するナットのサイズに合った、マンドレルを本体に反時計回転方向に、付属のスパナを使用してねじ込んで下さい。
⑤固定用ねじの穴径は、マンドレルのねじ径よりも０.５ｍｍ程度大きくなっています。取り付けたマンドレルのサイズに合った固定用ねじ（セットナット）を、本体に取り付けて下さい。
⑥使用するナットをマンドレルにねじ込み、ナット先端からマンドレルが約３ｍｍ出る様に、固定用ねじ、セットねじを調整して下さい。
⑦本機の先端を材料に軽く押し当て、材料とナットに隙間が無い事を確認して、ハンドルを握って下さい。
⑧ハンドルを握っても、ナットが下穴に十分固定できない場合は、ハンドルを離して、ヘッドを時計回転方向に回して、再度ハンドルを握って下さい。
⑨ナットが材料に固定出来れば、ヘッドを反時計回転方向に回して、本機をナットから外して下さい。



リベッター使用時の組立図



ナッター使用時の組立図

４，メンテナンス方法

・長期間使用すると、ジョーケース内部、スリーブにカスやゴミが溜まります。定期的にブラシ等で掃除して下さい。
・動的箇所には、定期的に潤滑油を塗布して下さい。
・使用前には、マンドレルのねじ部に油を付けて下さい。

５，注意事項

⚠警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う危険性があるもの。）
①本機を人に向けて使用しないで下さい。リベット、ナットが飛び出し、大変危険です。 ②安全眼鏡を装着して、作業をして下さい。切削した物が目に入る恐れが有ります。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は、製品の重大な破損を招く恐れのあるもの。）
①本機を本来の目的以外には、使用しないで下さい。 ②必要以上に本機に力をかけて使用しないで下さい。 ③シャフトサイズに合ったノーズピース、ナットのサイズに合ったマンドレルを使用して下さい。故障の原因になります。 ④本機に破損箇所がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。 ⑤操作方法を熟知していない人には、使用させないで下さい。 ⑥リベットのシャフトは、先端が鋭利になっている物があります。注意して下さい。 ⑦高所作業の際は、下に人がいない事を十分に確認して下さい。シャフトの落下等で、事故の原因になります。 ⑧ハンドル操作の時に、手や指等を挟まない様に注意して下さい。ケガをする恐れが有ります。 ⑨ハンドルにパイプを差し込んで、使用しないで下さい。 ⑩ナッターとして使用する時に、ハンドルを強く握り過ぎないで下さい。ナットのねじ山が破損します。

株式会社パーマンコーポレーション
〒550-0021　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　０１２０－２０２－８００